

# ＜HE\*\*JK＞のリモコン便器洗浄ユニット連立対応方法 ～HE10JK・HE20JK・HE30JK～

## 【はじめに】

上記品番の商品は、連立トイレに取り付ける場合、

現場で標準以外のタイプに切り替えることで誤作動を防止することができます。

「1. 連立トイレの設置例」を参考にタイプをお選び頂き、リモコン・受信ユニット側双方の設定を変更してください。

## 1. 連立トイレの配置例

標準タイプ	(特1) タイプ1	(特2) タイプ2	標準タイプ	(特1) タイプ1
(特3) タイプ3	(特4) タイプ4	(特5) タイプ5	(特3) タイプ3	(特4) タイプ4


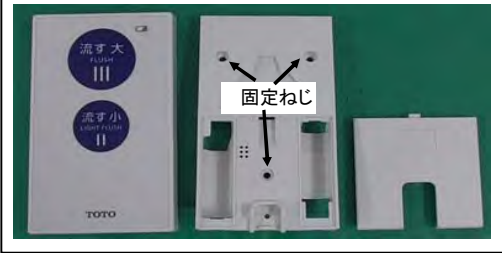
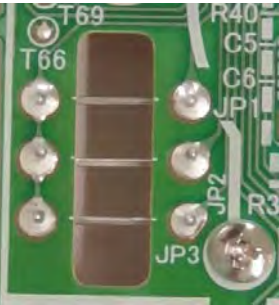
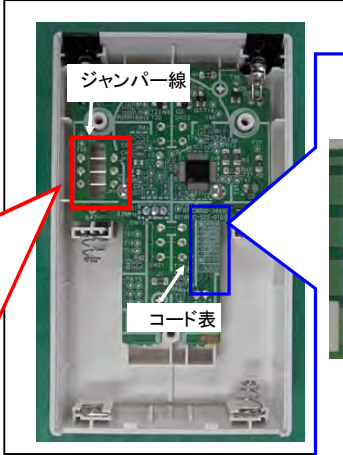

## 2. ラベルの準備

現場で標準以外のタイプに切り替える場合は、必ずリモコンと受信ユニットに特殊コードラベルを貼ってください。  
(メンテナンス向上のため)

ラベル	＜＜リモコン用＞＞	＜＜受信部用＞＞
特殊コード	<b>リモコンコード特1</b> このリモコンは特1タイプの 本体のみを操作できます。	<b>リモコンコード特1</b> この商品は特1タイプのリモ コンでご使用ください。
	品番	品番
	タイプ1(特1)      D05432-1	タイプ1(特1)      D05431-1
	タイプ2(特2)      D05432-2	タイプ2(特2)      D05431-2
	タイプ3(特3)      D05432-3	タイプ3(特3)      D05431-3
	タイプ4(特4)      D05432-4	タイプ4(特4)      D05431-4
	タイプ5(特5)      D05432-5	タイプ5(特5)      D05431-5

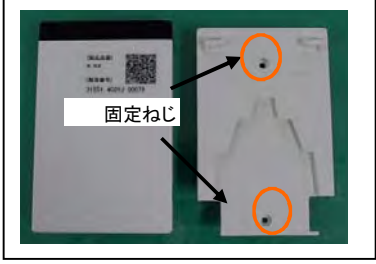
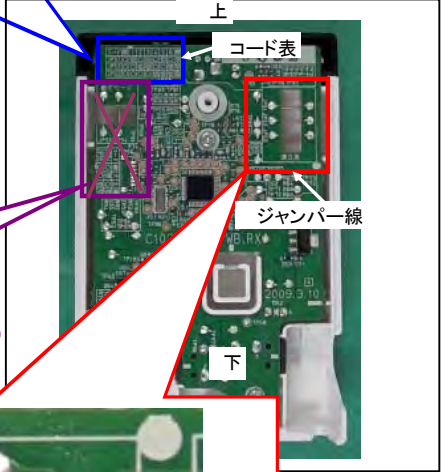
リモコン側・受信ユニット側双方の設定が必要です。

### 3. リモコン側の設定方法(写真はHE20JKを使用)

手順	リモコン特殊コード切り替え方法	
1	 <p>電池カバー</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>
2	 <p>固定ねじ</p>	<p>リモコン裏面のねじ3本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>
3	<p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p>  <p>《ジャンパー線がある場所》 向かって左部分。 (電池カバーの左上。)</p>  <p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、コード表にしたがってニッパで切断することによりタイプ1～タイプ6へ切り替える。</p> <p>標: 標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3 ……</p>  <p>○:つながったまま 切:切断 《コード表がある場所》 向かって右下部分。</p>	
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>	
5	<p>リモコン本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>	<p>例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>

※1 リモコン・受信ユニット側双方の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)

#### 4. 受信ユニット側の設定方法(写真はHE20JKを使用)

手順	受信ユニット特殊コード切り替え方法																																					
1		<p>受信ユニット裏面のねじ2本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																				
2	<p>標: 標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3</p> <table border="1" data-bbox="347 577 948 869"> <tr> <td>コード</td> <td>標</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>標</td> </tr> <tr> <td>JP51</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td>JP52</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td>JP53</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> </tr> </table> <p>○: つながったまま 切: 切断</p> <p>《コード表がある場所》 向かって左上部分。</p> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線コード表共に2種類あります。必ず連立用と書いたジャンパー線とそこから矢印で結んでいるコード表を見ながら対応してください。</p> <p>紫で囲んでいるジャンパー線とコード表は全く違いますので触らないでください。</p> <p>《ジャンパー線がある場所》 向かって右上部分。</p>	コード	標	1	2	3	4	5	6	標	JP51	○	切	○	切	○	切	○	切	JP52	○	○	切	切	○	○	切	切	JP53	○	○	○	○	切	切	切	切	<p>基板上的3本のジャンパー線を、コード表にしたがってニッパで切断することによりタイプ1～タイプ6へ切り替える。</p> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> 
コード	標	1	2	3	4	5	6	標																														
JP51	○	切	○	切	○	切	○	切																														
JP52	○	○	切	切	○	○	切	切																														
JP53	○	○	○	○	切	切	切	切																														
3	①裏板をねじで受信ユニットに取り付ける。																																					
4	<p>受信ユニットの裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> <p>例</p> <div data-bbox="999 1850 1321 1962" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>リモコンコード特1</p> <p>この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。</p> </div>																																					

※1 リモコン・受信ユニット側双方の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)